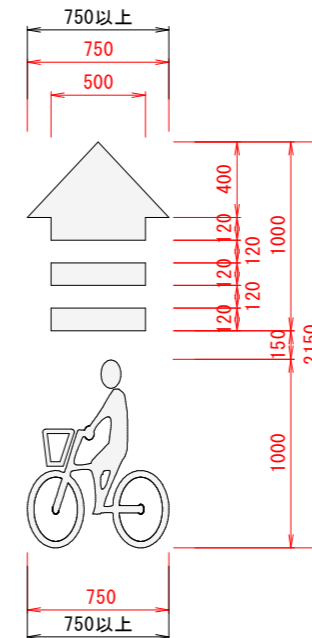


- 黒字は以下で定められているもの
- ・安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン (国土交通省 道路局、警察庁 交通局 H28.7改定)
 - ・路面標示ハンドブック ((一社) 全国道路標識・標示業協会)

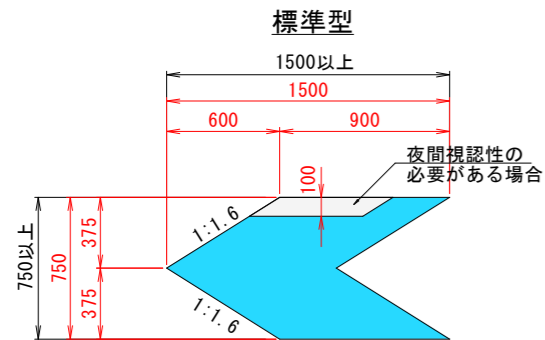
○赤字は徳島県独自の仕様

自転車ピクトグラム+矢印

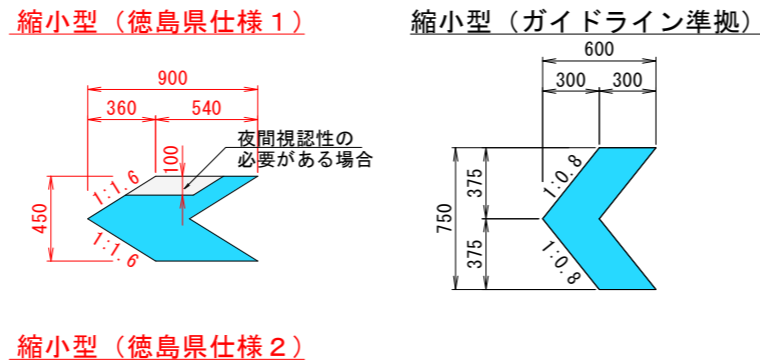


- ・交差点部の前後や自転車と自動車の交錯の機会が多い区間等に設置
- ・単路部での設置間隔は30m~50mに1箇所程度とする (車道混在において、矢羽根と併用する場合)
- ・色彩は白系色とする

矢羽根 (基本寸法)



矢羽根 (参考寸法)



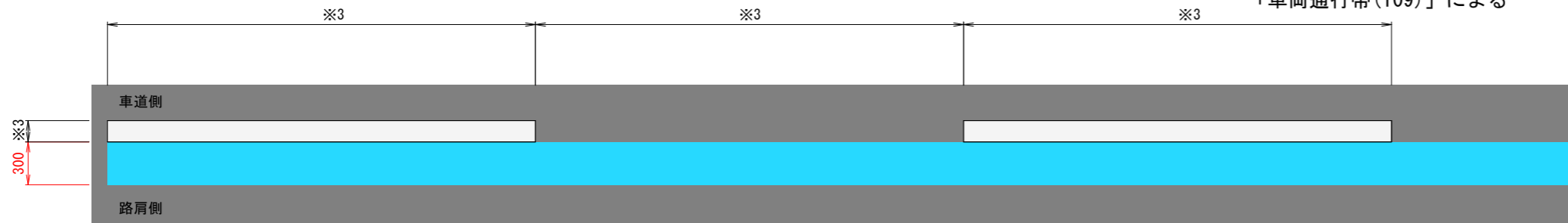
・設置間隔は10mを標準 (※1, ※2) とする

- ※1 交差点部、事故多発地点等では、設置間隔を密にする
- ※2 交通量の少ない生活道路等では、設置間隔を広げることができる

・色彩は青系色とする

・縮小型の使用にあたっては、徳島県県土整備部高規格道路課と計画段階で事前協議すること

自転車専用通行帯

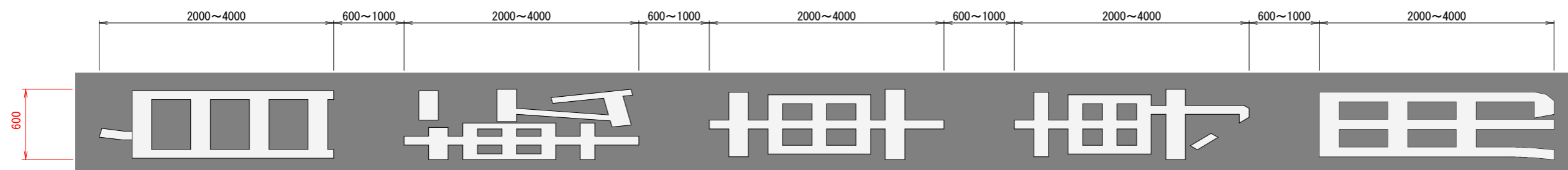


- ・带状路面標示の色彩は青系色とする
- ・標識令 道路標示「車両通行帯(109)」による

※3 第15 車両通行帯 設置基準 道路標示 設置方法 (交通規制基準 抜粋) (単位:メートル)

区分	標識令の規定	区分				
		① 市街地	② 非市街地及び自動車専用道路(③を除く)	③ 高速自動車国道及びこれに準じる高規格道路		
車両通行帯境界線	l_1 (長さ)	3~10	6	8		
	l_2 (間隔)	$l_1 \times 1 \sim 2$	9	12		
	t (幅)	0.10~0.15	0.10~0.15	0.15		
車両通行帯最外側線	道路標識等による場合	間隔	1~5	5	5	
	ペイント等による場合	t (幅)	0.10~0.20	0.15	0.15	0.20

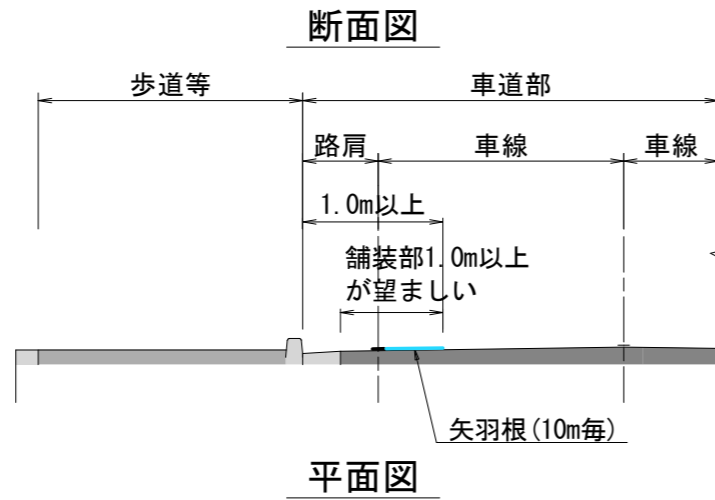
自転車専用文字



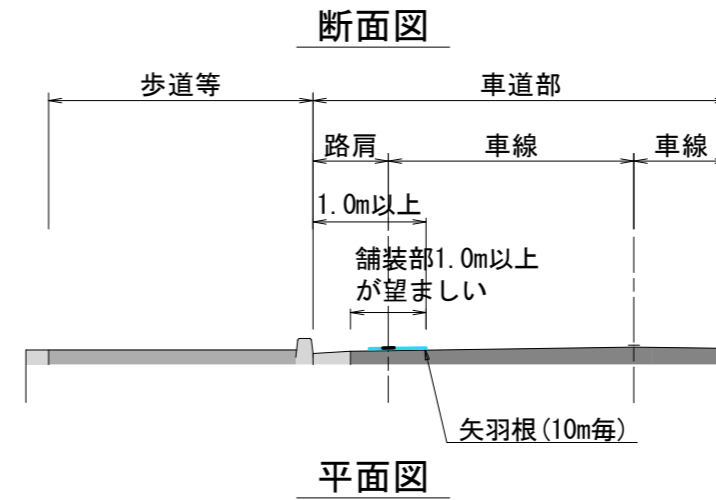
・標識令 道路標示「専用通行帯(109の6)」による

歩道有り、外側線有り、路肩狭い

【矢羽根を車線内に表示】



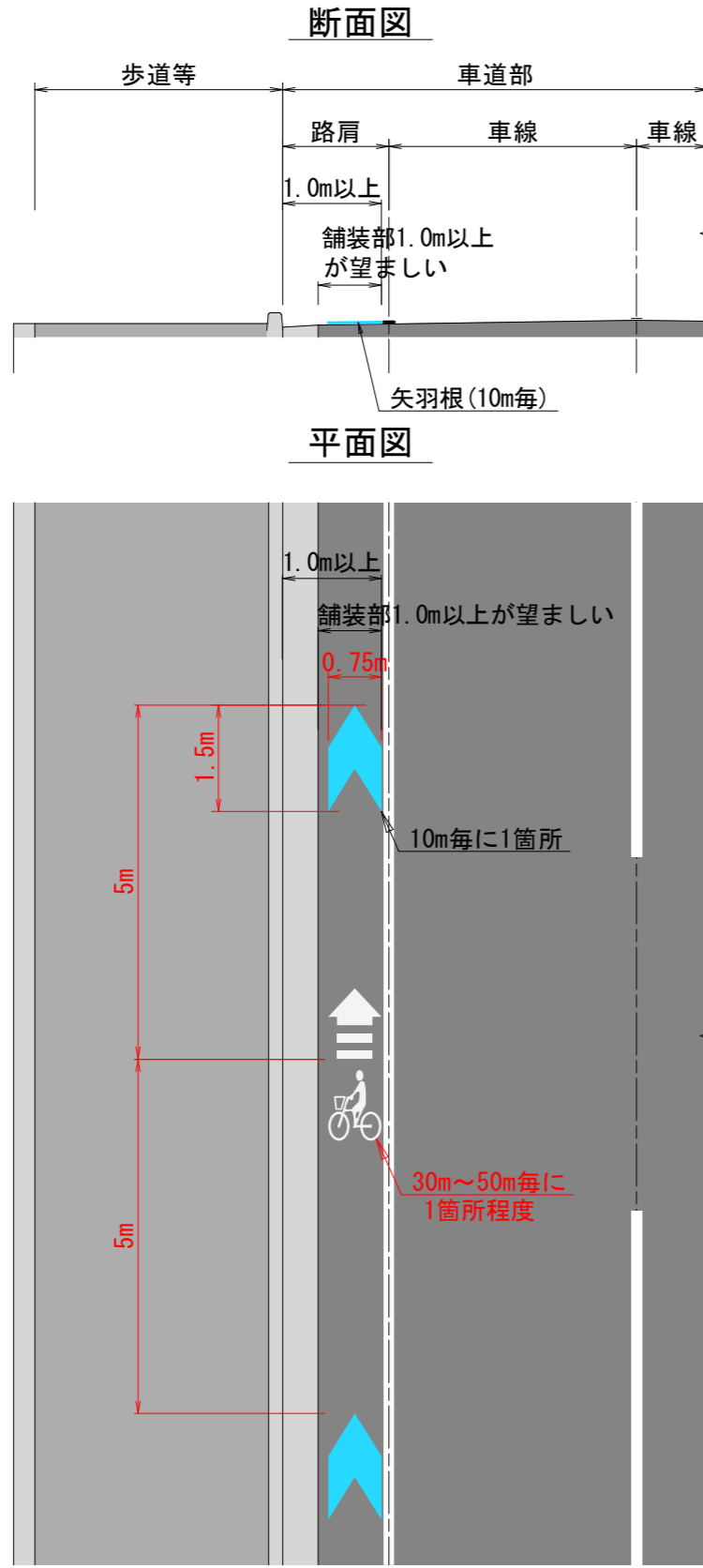
【矢羽根を外側線の下に重複させて表示(※4)】



※4 矢羽根の一部もしくは全部を路肩内に標示する場合は、当該道路の車両通行帯規制の有無を交通管理者に確認すること

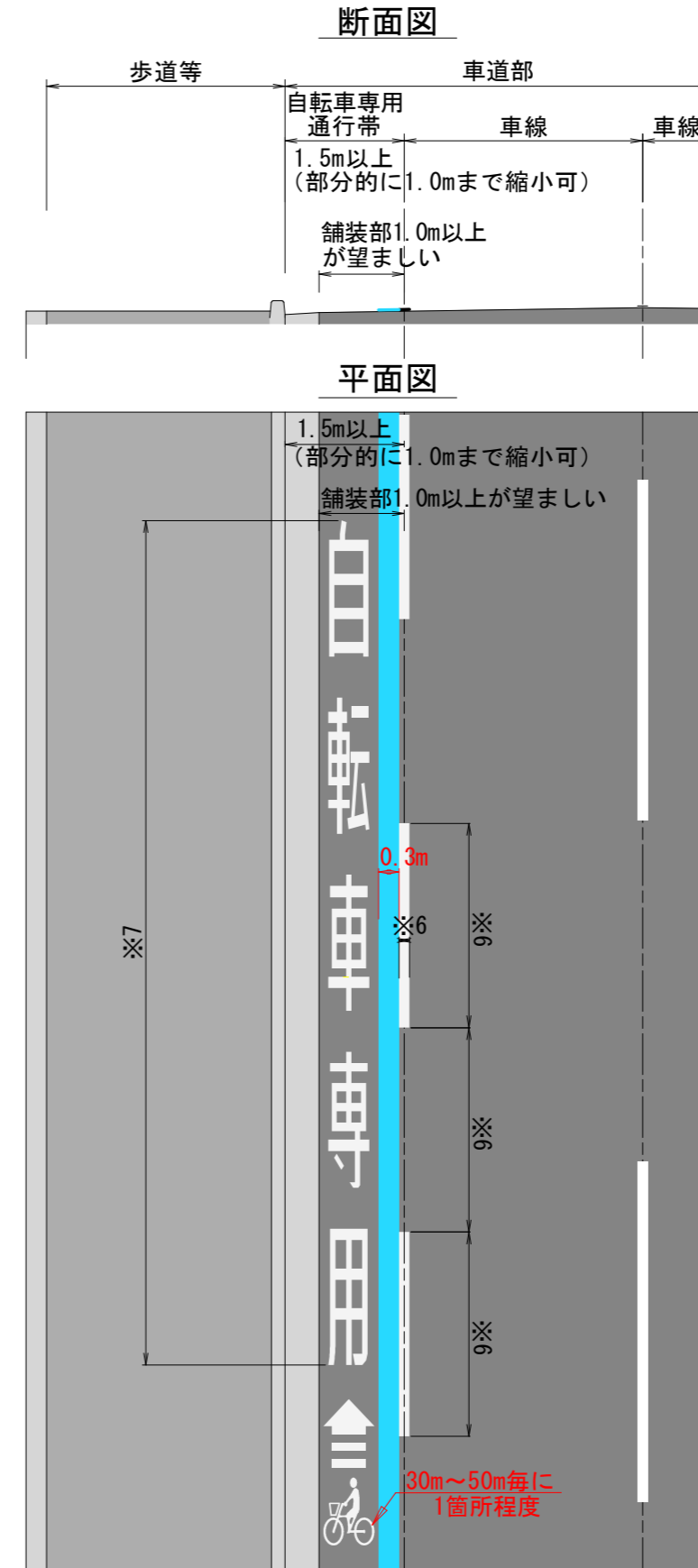
歩道有り、外側線有り、路肩広い

【矢羽根を路肩に表示(※5)】



※5 矢羽根の一部もしくは全部を路肩内に標示する場合は、当該道路の車両通行帯規制の有無を交通管理者に確認すること

【自転車専用文字を路肩に表示】



※6 交通規制基準による(第15 車両通行帯 設置基準)

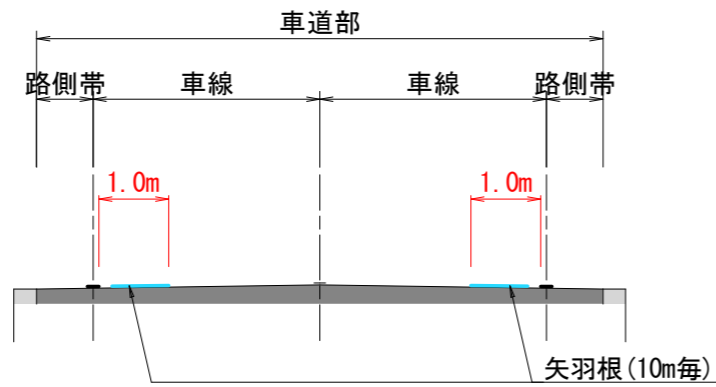
※7 標識令 道路標示「車両通行帯(109)」による

路面標示の設置位置及び間隔(単路部)(その3) S=1:50

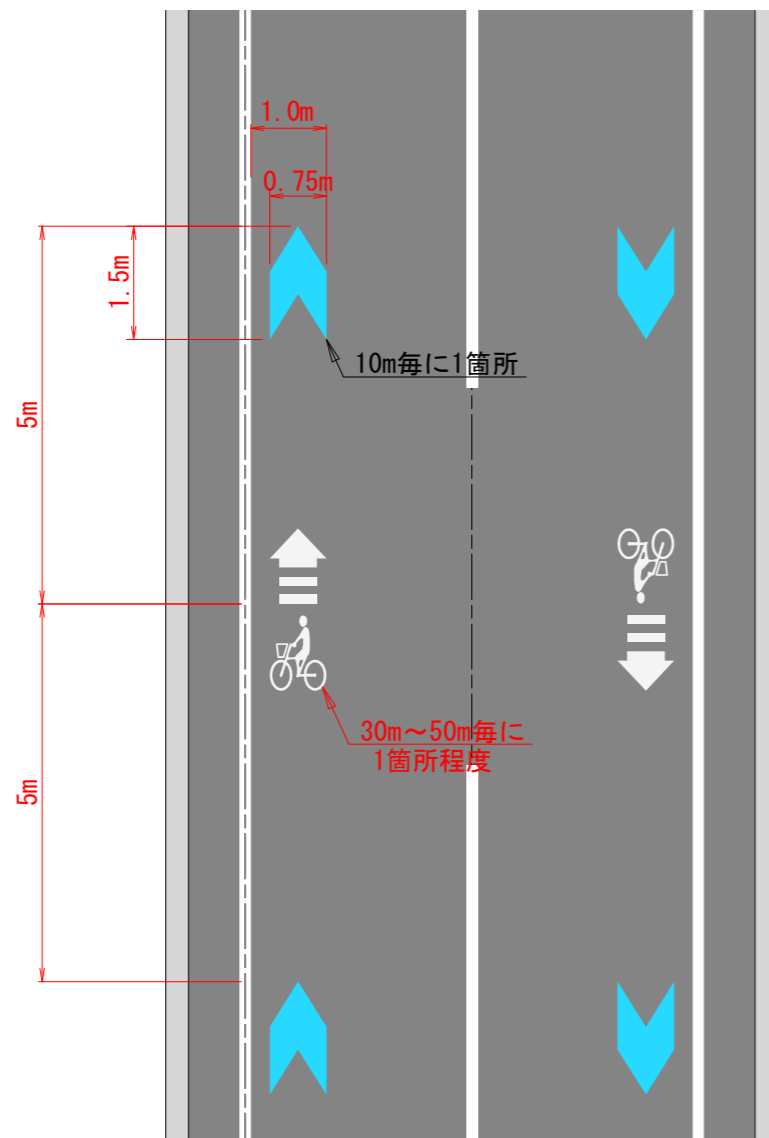
歩道無し、外側線有り

【矢羽根を車線内に表示】

断面図



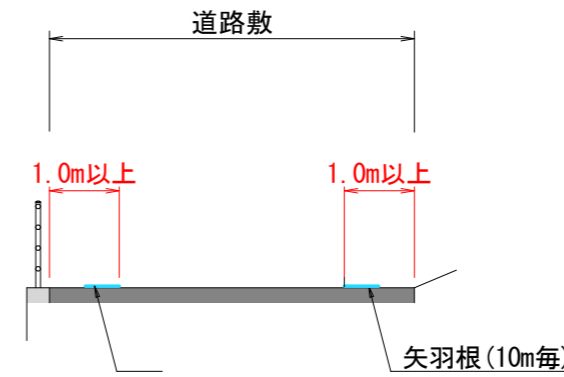
平面図



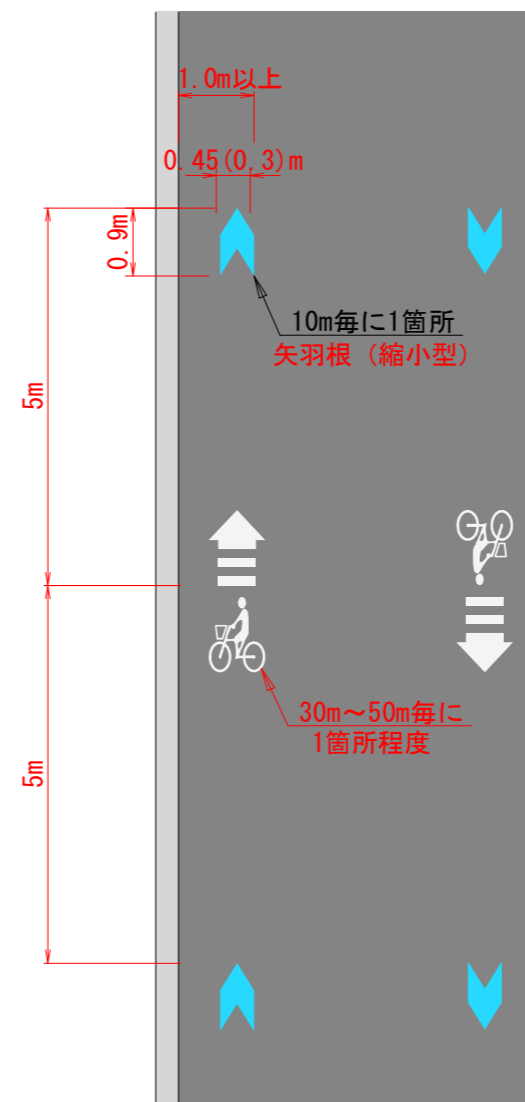
歩道無し、外側線無し

【矢羽根の縮小型を表示(※8)】

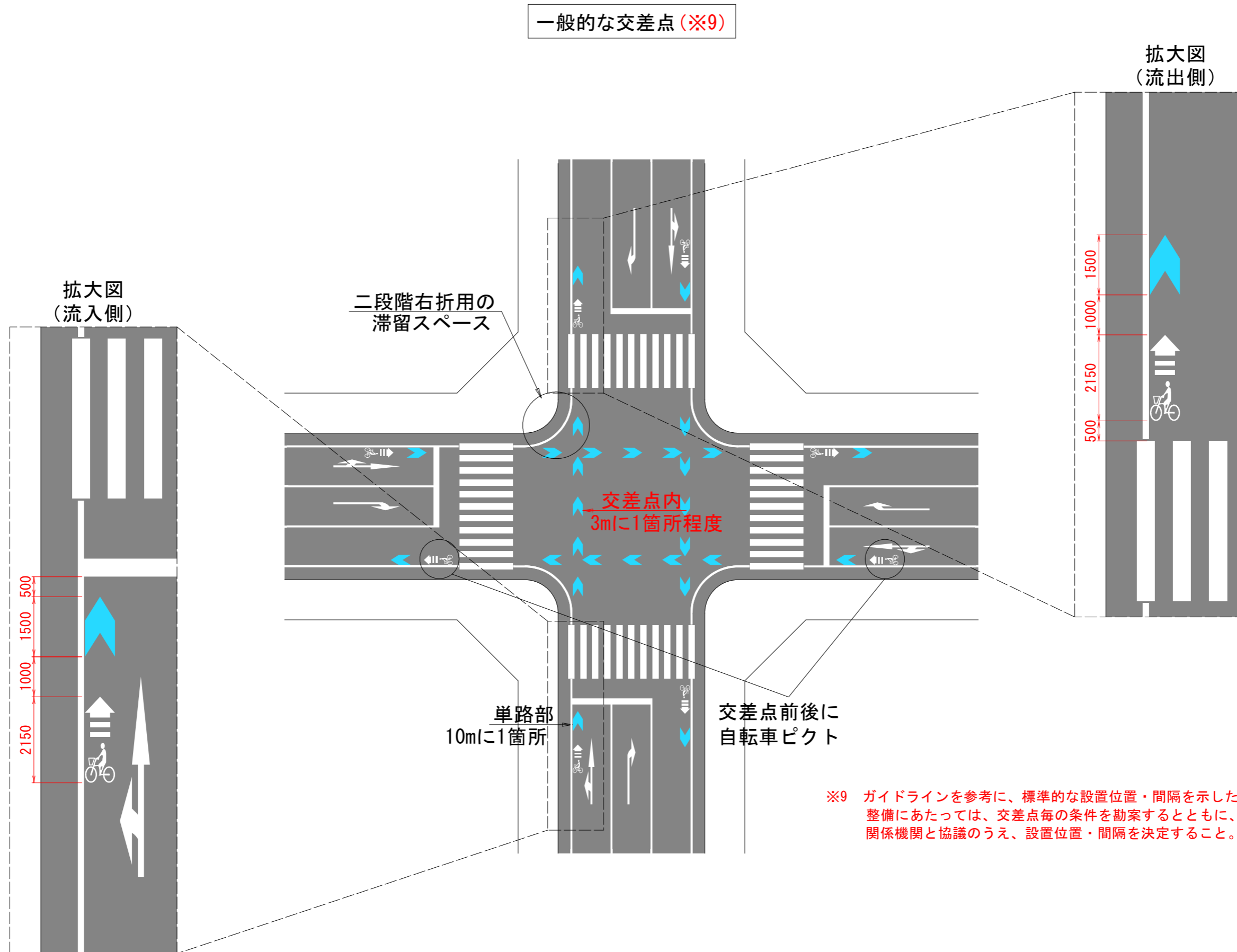
断面図



平面図



※8 矢羽根(縮小型)の使用にあたっては、徳島県県土整備部高規格道路課と計画段階で事前協議すること



※9 ガイドラインを参考に、標準的な設置位置・間隔を示したものであり、整備にあたっては、交差点毎の条件を勘案するとともに、関係機関と協議のうえ、設置位置・間隔を決定すること。

特殊な交差点(細街路交差点)

